基本目標(4) 地域の子育て力と支えあいを強化します

方向性(1) 地域の子育て力の育成と協働

現状と課題

平成 28 年度調査結果によると、区には子育てを協力・支え合う地域のつながりがあると評価しているのは、乳幼児の保護者で約4割、小学生の保護者で約5割でした。

子どもたちが地域を担う一員として、豊かな人間性、社会性をもった大人に成長するよう、本区の特徴である"困った時はお互い様"という助け合いの精神や人情深い下町気質を子育ち・子育てを支える活動につなげ、地域全体で子どもの育ちを見守り、支えていくしくみをつくる必要があります。

今後の方向性

- 保育所・幼稚園等の教育・保育施設、児童館、学校、町会・自治会等が、相互の連携・協働により、乳幼児期の頃から子ども・子育て家庭が身近な地域とかかわり、つながりを深めていくことができるようにしていきます。
- 子育て経験のある方や子育ち・子育ての活動にかかわりたいと思っている区民を、 子育て支援サービス等を担う人材として育成するとともに、子育て家庭や教育・保 育施設、児童館、学校等とつなぐしくみを整備し、区民の子育ち・子育て支援活動 への参画を促進します。
- 地域の子育て支援・青少年育成団体、NPO やボランティア団体等が展開している さまざまな活動を促進し、地域での多様な支え合いの輪を広げていきます。

方向性(2) 企業等の子育て力との協働

現状と課題

企業の地域貢献活動として、そのノウハウや人材を生かした次世代育成支援への取組が期待されます。こうした子育ち・子育て支援、子どもを取り巻く地域の環境整備等への企業の取組を促し、区や地域との連携・協働につなげていく必要があります。

今後の方向性

- 企業の子育てにかかわる地域貢献活動を促進し、連携・協働を推進します。特に子どもたちがすみだの産業について知り、体験できる機会づくり、子どもの職業観や将来墨田区で働くというイメージの育成につながる取組などを進めていきます。
- 商店街や大型店舗での授乳・おむつ替えスペースの設置、子育ち・子育て支援だけでなく、地域の活性化やイメージアップにもつながる取組を検討・推進していきます。
- 子育ち・子育て支援活動に積極的に取組む区内の中小企業や商店等の情報を、区報

やホームページ等で紹介し、こうした取組の普及啓発につなげていきます。

■ 区内の中小企業や商店等に対して、子どもの見守りや緊急避難所としての役割など、 子育ち・子育て支援への協力を呼びかけていきます。

方向性(3) 個々のニーズに即した子育て支援ネットワークの構築

現状と課題

区では、家庭での子育てを支援する拠点として、平成19年に子育て支援総合センターを開設し、総合相談、子育て支援サービスの提供・調整、要保護児童対策等の機能の充実を図ってきました。平成28年度調査結果によると、子育て支援総合センターの認知度は2年前と比較すると上昇し約8割に、墨田区訪問型保育支援事業(すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」)の認知度も約5割に高まってきていますが、家庭での子育て支援拠点として、子育て支援総合センター機能のより一層の充実・強化のほか、事業の区民への周知を継続する必要があります。

また、区においては、さまざまな機関・団体等が子育ち・子育て支援を展開していますが、横の連携・つながりが課題として指摘されており、この課題の解決を図っていくことが重要です。

< 子育て支援サービスの認知度と利用希望 >

	F 7-1 .		F-4	
	【認知度】(MA) 「知っている」と 回答した人		【利用状況】(MA) 「利用したことがある」と 回答した人	
	n	%	n	%
全 体	1,095	100.0	1,095	100.0
出産準備クラス、育児学級	824	75.3	456	41.6
妊婦歯科健康診査	999	91.2	513	46.8
こんにちは赤ちゃん事業	276	25.2	187	17.1
育児相談、子育て相談、子育て講座	946	86.4	334	30.5
児童館、コミュニティ会館	1034	94.4	781	71.3
子育て支援総合センター	868	79.3	297	27.1
すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保	608	55.5	69	6.3
育支援事業)	000	55.5	09	0.0
すみだ安全・安心メール	802	73.2	459	41.9
すみだいきいき子育てガイドブック	902	82.4	606	55.3
赤ちゃん休けいスポット(区が認定した民間の店舗等や 公共施設の授乳やおむつ替えができる場所)	910	83.1	314	28.7
すみだ子育てアプリ	302	27.6	164	15.0
保育コンシェルジュ	650	59.4	123	11.2
一時保育	918	83.8	187	17.1
ゆりかご・すみだ事業	606	55.3	81	7.4
パパのための出産準備クラス	664	60.6	219	20.0

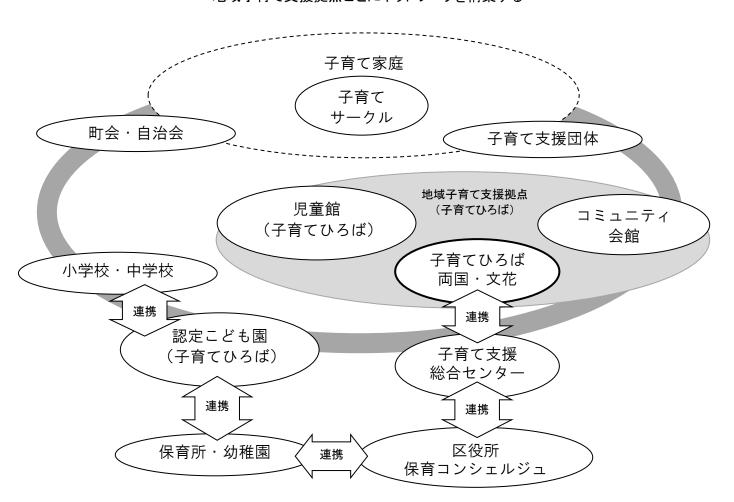
資料:「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書」(平成29年2月)

今後の方向性

■ 乳幼児期の頃から子育て家庭が身近な地域とかかわり、つながりを深めることで、 家庭への支援の目が届かずに孤立することを防ぎます。そのため、子育ち・子育て 支援にかかわる関係者・機関によるネットワークとして、子育て支援総合センター

- の児童相談機能と、認定こども園、子育てひろばや児童館などの地域子育て支援拠点の連携する内容や方法、役割分担を明確にし、それらを中心として、保育所・幼稚園等の教育・保育施設、児童館、学校、町会・自治会等が、相互の連携・協働する地域ごとの子育て支援ネットワークを構築します。
- あわせて、子育て支援総合センターや子育てひろば、認定こども園、保育所、児童館、区役所に利用者支援事業の実施を拡大するとともに、地域子育て支援拠点事業 (利用者支援事業)をネットワークの核として、総合案内や全体のコーディネート機能を更に強化していきます。
- さまざまな機会を通じて、子育てに関する総合相談窓口である子育て支援総合センターや地域の児童館などの子育て相談窓口の区民への周知・PRを進めます。家庭での子育てを支援する拠点として、今後は特に親同士のつながりや支え合いを促進するための自主グループの育成や、子育てを支援する地域人材の育成等に力を入れていきます。

<地域子育て支援ネットワークの検討イメージ図> 地域子育て支援拠点ごとにネットワークを構築する



方向性(4) 子どもと親が安心して暮らせる環境の整備

現状と課題

平成28年度調査結果によると、子どものための交通安全対策、子どもを犯罪から守る ための対策が充実していると評価している割合は、乳幼児の保護者と小学生の保護者の いずれも4割台に上昇していますが、いまだに低い割合となっています。

一方で、子どものための交通安全対策と子どもを犯罪から守るための対策は、今回調査においても乳幼児や小学生の保護者ともに求める子育て環境で上位にあげられています。保護者が子どもの安全を重視している点を踏まえ、今後は更に対策を強化していく必要があります。

今後の方向性

- 交通安全教室の実施など、子どもの交通の安全を確保するための取組を推進します。
- 子どもの犯罪や非行の多くは人々の目に見えないところで引き起こされるケースが多く、子どもを犯罪から守るため、防犯意識の啓発、子どもの安全に配慮した地域施設や公園等の環境整備、パトロール等地域の見守りによる防犯活動など、区民(地域)、区、警察等が一体となった取組を推進します。